

はじめに

(支援者のみなさまへ)

ひらがなを中心にした Vol.1 に続き、Vol.2 では、ひらがなを習得した子どもが取り組めるように、カタカナに特化した構成になっています。

カタカナは小学校一年生で習います。国語教育では、小学校一年生の段階でカタカナの読み書きができることが目標で、二年生になってカタカナで書く語がどのような種類の語であるかを知り、実際に文や文章の中でカタカナを使うことが求められます。

外国の人の名前や国の名前はカタカナで書くというルールを考えると、外国にルーツを持つ子どもは出身国や名前にカタカナが含まれていることが多く、カタカナに対して親しみを感じるかもしれません。しかし、実際の発音とカタカナ表記の違いに戸惑う子どももいます。

また、特別支援教育の現場でも、カタカナは教材が多くないため指導に苦労しているということをお聞きしました。そこで、カタカナの書き方とルールが身につくような教材を作ろうと考えました。今回の教材化では、巻頭に日本語教育と特別支援教育の専門家による学習項目の解説と支援のヒントが述べられていますので、参考にしてください。

2021年12月に本教材の前身である Vol.1 のほうの試作版を作り、全国6地域の日本語指導の現場で使っていただきました。試作版を各地域で使っていただいてわかったことがいくつかあります。それは、学用品の名称や身支度に関わる動詞をはじめ、学校にまつわることには地域性があるということです。支援者の方には、ぜひ地域性を大事にしていただけたいと思います。

また、下記のサポートサイトに「支援のヒント」がありますので、ご覧いただけたら幸いです。

「たんけんたいシリーズ」サポートサイト

<https://www.bonjinsha.com/wp/tankentai>



本教材をお使いいただく支援の場で、子どもたちが楽しい時間を過ごせることを願っています。また、ご意見やご感想などをお寄せいただけたらありがたく存じます。

本教材の学習項目の解説も書いてくださっている公認心理師の米田奈緒子先生には、カタカナの問題作成において特別支援教育の視点で多くのアドバイスをいただきました。そして、いつも適切なアドバイスをくださった凡人社編集部の渡辺唯広編集長と大橋由希さんに心から感謝いたします。

2024年5月

川崎直子

本教材は、ユニバーサルデザイン（UD）の考え方にに基づき、より多くの人に見やすく読みまちがえにくいデザインの文字を採用しています。

On the basis of the policy of universal design (UD), easy to understand and easy to read character designs are used.



もくじ

はじめに（支援者のみなさまへ） i
『ことばたんけんたい vol.2』学習項目表（日本語教育と特別支援教育） iii

Part 1 カタカナ【基礎】

眼の運動 no.01～no.02 p. 1
カタカナの練習 no.03～no.12 p. 3
似ているカタカナに気をつけましょう no.13～no.24 p. 12
同じ文字を見つけましょう no.25～no.27 p. 24

Part 2 カタカナ【発展①】 特別な音を書きましょう

濁音と半濁音 no.28～no.30 p. 27
絵と言葉を結びましょう no.31～no.33 p. 30
小さい「ヤ」「ユ」「ヨ」 no.34～no.37 p. 33
特別な音の読み方と書き方 no.38～no.43 p. 37

Part 3 カタカナ【発展②】 カタカナで言葉を書きましょう

聞いて、物の名前を書きましょう no.44～no.50 p. 43
動物の鳴き声を書きましょう no.51～no.52 p. 50
カタカナを縦書きで書きましょう no.53～no.56 p. 51
言葉を見つけましょう no.57～no.62 p. 55
カタカナで書く言葉 no.63～no.64 p. 61
身近な名前をカタカナで書きましょう no.65 p. 63
身支度の言葉を書きましょう no.66～no.67 p. 64

Part 4 カタカナ【発展③】 カタカナとひらがなを使いましょう

言葉を仲間に分けましょう no.68～no.71 p. 66
スリーヒントクイズ no.72～no.83 p. 70
文を読んで答えましょう no.84～no.94 p. 81

Part 5 ソーシャルスキルトレーニング(SST)

こんなとき、どう言いますか no.95～no.98 p. 92